

# 3R・ごみ問題とSDGs

ごみ会議委員からの寄稿  
「ごみ拾いを通じて」



以前から気になっていたのですが、街を見渡すとポイ捨てごみを非常に多く目にします。個人で拾ったり、廃棄物減量等推進委員会の会議後に清掃活動でも拾ってきましたが、現在はコロナウィルスの影響もあり、清掃活動ができていません。そこで、私たちと同じように定期的に清掃活動を行っている団体が秋川駅周辺にあるとのことで、今回秋川駅北口会の清掃活動に参加しました。

活動は、毎月第1週の土曜で、秋川駅周辺を1時間程度行っているそうです。始めたきっかけは、自分が住んでいる街をきれいにすること、落ちているごみが風に吹かれ川から海へ流れていくことで、海洋汚染などの環境問題を防ぐことだそうです。

活動を行い始めた頃は3人でしたが、次第に役員さんが中心となり、今では会のメンバー全体での活動となりました。今回も写真のように、たくさんのポイ捨てごみを集めました。

参加して感じたことは、必要なくなったものをごみとして自分の手から離す際に、適正に処理をするまでが、ごみを出す自分自身の責任だということです。

小さいものだからいいやと、ポイ捨てをしたものは、川から海へ流れていくかも知れません。リサイクルできるものかも知れないのです。このように活動している人が、拾って処理をしているかも知れません。

今後はこのような活動がなくても、一人ひとりが、もっとごみに関心を持ち、リデュース・リユース・リサイクル(3R)に取り組んでもらい、「ごみがなくなる社会」が実現できるように発信していきます。



街路樹の中から  
出てきた  
ポイ捨てごみ

秋川駅北口会のみなさん

こんなにたくさん  
集まりました



## 編集後記

最近注目を集めているSDGsですが、難しい話ではなく、いつものごみ減量とも密接に関わる内容であると学び直しができました。市のごみの現状にもありますが、当たり前の事を当たり前にやることが大切だと思いました。(T.T)

# へらすごう

第26号 2022年2月

あきる野ごみ会議は、市民・事業者・市の3者が協力して活動しています。



## ごみの減量を通じてSDGsについて考えよう!!

げんじん君、「SDGs」って言葉を良く聞くけれど  
どんなことなの?



SDGsとは「子どもや孫の世代が困らないような、  
資源、文化、生活を残すために、  
何ができるか」をまとめたものだよ。  
ごみを減らすことも SDGsの一部なんだよ。



ごみを資源に変えること、ごみを出さない商品  
を選ぶこと、詰め替え品やリユース品をつかう  
ことは、次の世代に資源を残すことになるんだ!

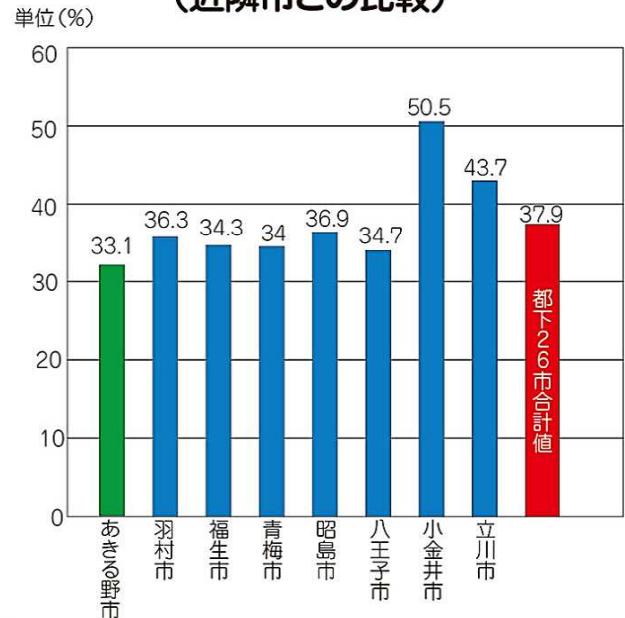


SDGsって大切なことなんだね!一人ひとりが  
将来のことを考え、今できること(物を無駄にしない、  
ごみを減らす、資源にする)をすることだったんだね。  
僕ももっとがんばるぞ!!

SDGsには目標12「つくる責任、つかう責任」が盛り込まれており、  
「使った後のごみをどのようにするかの責任」についても記載されています。



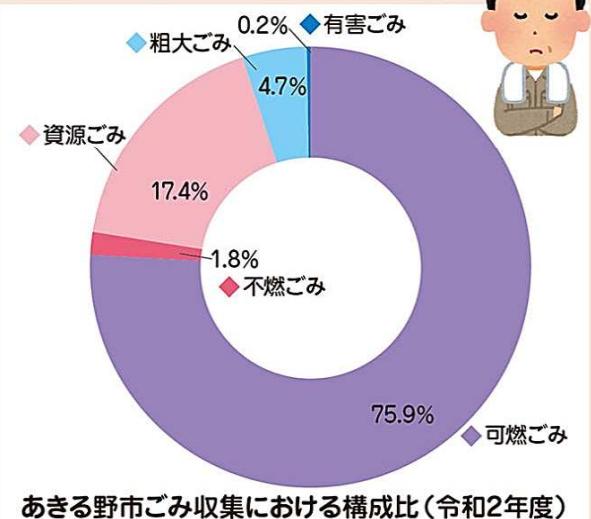
## 令和2年度のごみ総資源化率 (近隣市との比較)



# あきる野市のごみの現状

あきる野市のごみの総資源化率(個人排出だけでなく、資源集団回収を含んだ数値)は、**都内26市中25位**となっています。

収集されたごみの構成比(重量)を見ると、7割が可燃ごみとなっています。可燃ごみの中には、資源火が可能な紙ごみや、堆肥化可能な生ごみが見受けられます。



あきる野市のごみ処理経費は(年間、令和2年度)  
**約12億2500万円**、1人あたりに直すと  
約15,148円となります。水分量の多い生ごみは、  
燃焼効率が下がり燃料費がかかります。生ごみを  
ご家庭で堆肥化すれば処理費用も減ります。

生ごみは出す前に、  
「もうひと絞り」にご協力を！

## 一口メモ

環境省の調査では生ごみの80%が水分のことです。  
片手で絞るだけで、重量が3割以上削減ができます。  
また費用だけでなく臭いや、動物に荒らされることも減ります。

## ごみを減らすために何ができるか

### 私たちにできることは?



生ごみは  
良く水切りをする  
ビニール袋に入れたら  
ひと絞り、これだけでも  
違います。

名刺サイズ  
以上のごみは  
資源ごみになる

ペットボトルや  
白色トレーは  
買い物の際に、  
スーパーの  
回収ボックスに  
持つて行く

不要になった  
ものはリサイクル  
リサイクル品を利用すれば、  
財布にも環境にも優しい。

必要な量の  
購入と調理  
安くても、不必要的買いだめは、  
食品ロスの原因になります。

「小さなこと、当たり前のこと、  
もったいないと思うことを続けること」  
20L→10L→5Lと、ごみ袋も**サイズダウン**を目指して頑張る!  
ごみ処理費が減ったら、他に予算が使えますよね。

(ごみ減量委員 C.S.)

みんなでやれば  
ごみ減量も可能ですね。



## ミニコーナー 環境ラベル 分かるかな?

### 読みばわかる ゾーン



何についている?  
どんな製品に  
ついてるか分かるかな?



難易度高い  
何を意味しているか  
分かるかな?



「環境ラベル等データベース」と検索すれば、マークの答えが分かるよ!調べてみよう!

## 身近なSDGsの取組について

### 生ごみを堆肥化して、作物を再生産する取組



実際に育てた  
ヤーコン

実際に育てた  
ホーリーバジル



あきる野市内でEM菌(乳酸菌、  
酵母菌、光合成菌等の  
善玉菌の集合体)を使って、  
農業に取り組まれている  
Mさんに記事を  
寄稿いただきました。

定年退職後、近隣の畠で野菜作りをしています。15年前にEM菌に出会い、野菜を安全なEM菌発酵肥料を用いて栽培しています。

野菜くず、雑草、落ち葉等、土からでたものを、短期間で発酵させ、土に還元させています。

5年前より健康野菜のヤーコンを栽培しており、芋部分はオリゴ糖を多く含み常時食用しています。葉や茎はポリフェノールが豊富で健康茶として飲用し、漢方効果も抜群です。

今年から空気の清浄効果が高いホーリーバジル(神目草)の栽培も始め、地球環境の改善にも目を向けています。

生ごみを減らして還元し、土地の劣化を防ぎ、土壤改良ができるEM菌農法によって、自身の健康保持にもつながっています。ごみの減量、作物の生産、健康保持の循環の中で、持続可能な取組を続けていきます。

## 一口メモ

ダンボールコンポスト及びEM菌による堆肥化講習会(生ごみ減量推進)を、  
偶数月に開催しています。参加申込については市広報をご確認ください。